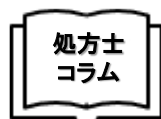


## 犬の石けん処方士タイムズ



## 「ペットの防災は人の防災」

犬の石けんインストラクター  
犬の石けん処方士  
沖縄県 岩田 うみ



(一社)人も犬も猫も幸せなまち創り隊OKINWA 理事・防災士・ペット災害危機管理士 <https://sekken.okinawa/>

「いざという時あなたとペットは生き残ることができますか？」

私は現在、防災士・ペット災害危機管理士としてペットの飼い主を含めた地域の人たちへのペット防災の啓発活動を行っています。

避難所に行ってもペットは受け入れてもらえないだろうと自宅に残った方や一旦は避難をしたのにペットが気になり自宅に戻った方が津波に巻き込まれたり、ペットと一緒に車中避難をするしかなくエコノミー症候群になったり、大勢の尊い命が失われた過去の経験をもとに環境省は平成30年3月ペットの災害対策ガイドラインを策定し「ペットの命を守ることが人の命を守ることになる」とペット同行避難を推奨しています。

大地震や大津波などの大災害がいつどこで起こっても不思議はない今「ペットとの防災」をみなさんと一緒にシ

ミュレーションして行こうと思います。さあ、あなた自身の「もしもの時」を想像することからスタートです。一番大切なのはあなたの命。ペットが助かったとしてもあなたは助からなければペットたちはどうなるでしょうか。そのためには、ご自宅の災害対策は今のままで大丈夫ですか？家具の上などから落ちてきそうな物はありませんか？身の安全が確保できる空間は作ってありますか？避難グッズはすぐに取り出せますか？お家の隅々までチェックしてみましょう。次にあなたのお住まいの市町村が作成しているハザードマップであなたが避難する指定避難所を確認しましょう。どうやってどの道を通って指定避難所まで行くかを考えてハザードマップを見ながら歩くルートを思い描いてください。そして実際にあなたやご家族など人間のみで指定避難所まで歩いてみます。頭の中でイ

メージしていたのと実際ではずいぶん違いが出てくるのではないのでしょうか。最後にペットと一緒に避難グッズを持って避難訓練をしてみましょう。この体験は「もしもの時」の力強い備えとなるはずですよ。

避難グッズは100均でもたくさん揃えられます。写真をぜひ参考にしてください。また、外出先や車を運転している最中等様々なケースやシチュエーションで命を守るための備えや行動を思い描くことも大切です。



↑100円均一避難グッズ

↑環境省「災害、あなたとペットは大丈夫？」  
\*環境省のHPからダウンロードできます

【広告】阿蘇俵山の麓に佇む手作り石けん教室 お友達やご家族で手作り体験しませんか？(完全予約制) アロマと手作り石けん教室 風香

犬の石けん処方士の  
Wan! タブル  
Wan! デイ

NPO法人ペット災害危機管理士会からお声掛けをいただき、2022年11月3日に北九州市の福岡県営中央公園で開催されたペットのためのイベント『ワンヘルスフェスタ2022』に出店しました。ペット

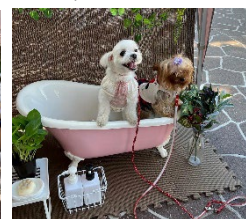
災害危機管理士で犬の石けん処方士でもある沖縄県の岩田うみさんと数年ぶりのイベント参加でした。ショップ名は「犬の石けん処方士のDoggie Soap Shop」とし、今回初の試みとして、石けんを安心してご購入いただけるよう犬の石けん処方士が使用できる『あわん』オリジナルシールを貼り、固形石けんや液体泡石けんのほか、肉球バームを販売しました。また、お客様に気軽に立ち寄って頂けるように、無料で愛犬の写真撮影ができるピンクの猫足バスタブのフォトコーナーも設けました。ワンヘルスフェスタには初めての参加なので、北九州での犬の石けんの認知度はいかなものかと思いましたが、やはり「犬の石けん？何それ？」という方ばかりで立ち止まってもいただけません。フォトコーナーにも気付いていただけず、頑張って声をかけるうちに少しずつ足を止めてくれるようになりました。フォトコーナーで写真を撮ってくれた方にミニサイズの犬の石けんや肉球バームをプレゼントして、石けんの説明をしました。散歩後に足を洗う時には液体が便利とか、全身を洗う時は固形がオススメなど使い分けのお話をしたり、実際に石けんを泡立

て洗い方をレクチャーしたり、みなさん興味深く聞いてくださったのですが、説明だけで終わってしまったような気がします。愛犬の皮膚についてご相談いただいた方や石けんを購入するために息を切らしながらわざわざお越しくくださった方もいらっしゃいましたが、全体的にはまだまだ「犬の石けん」の認知度は低い！という感想を持ちました。時間をかけて準備した『犬の石けん作りワークショップ』は参加ご希望の方がいらっしゃらずとも残念でした。これは二人での対応ではそこまで余裕がなかったというのが実情で今後の反省点でもあります。ただ、1日を通してたくさんのわんこ達が写真を撮るために立ち寄ってくれたので、とても癒やされたし、飼い主様ともお話しできた楽しいイベントでした。『継続は力なり！』今回の反省点をふまえた上で、是非とも来年も参加して「去年も来ました！」「石けん使ってみました！」などの声が聞けることを期待したいです。そして数年後にはたくさんの方々から「犬の石けん処方士のDoggie Soap Shop」を目指して来てくださるよう今後も出店を続けていきたいと思ひます。

犬の石けんインストラクター・犬の石けん処方士 熊本県 緒方 優佳  
アロマと手作り石けん教室 風香 <https://a-fuuka.com>



[https://youtu.be/NWcum9ux\\_sl](https://youtu.be/NWcum9ux_sl)





## 天然素材、ストレスフリーで安全な犬服作り



犬服には、単に「かわいい」や「おしゃれ」というだけではなく暑さや紫外線、寒さなどの環境変化から身体を守ったり、ケガや汚れを防止したりするといった大切な役割があります。

わが家には皮膚の弱い子がおり、痒みがひどくなると自身の爪でかきこわしてしまうため、皮膚の保護のためのお洋服が一年中かかせません。化繊混の服は摩擦でかゆみを増長させることがあるため、皮膚に触れる部分には綿や麻などできるだけ天然の素材を使うこと、犬の動きを妨げない安全でストレスフリーな服であること、をテーマに服作りをしています。

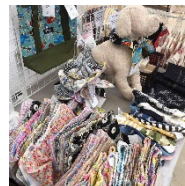
作った犬服は犬用石けんと一緒にときどきドッグフェスに出店し販売をしています。出店の際は、わが家の愛犬たちも同伴し、看板犬としてがんばってもらってます。

私の住む九州は犬を同伴することが許されている場所・お店や観光地が少なく、まだまだ一緒にお出かけにくい現状があります。そんな中、ドッグフェスは愛犬と一緒に買い物やグルメ、ゲームなどを思いきり楽しめる貴重な機会です。極小犬から日頃はあまり目にする事のない超大型犬までいろんなワンコに直接触れあえたり、たくさんのお愛犬の方々と交流できたりしてお洋服や石けんつくりのための新たな発見、ヒントを得る大切な場でもあります。



出店の回を重ねるごとに顔なじみのワンコやそのご家族も随分と増え、そんなワンコたちの顔を思い浮かべながら作業することで服作りのモチベーションもあがります。

犬の石けんインストラクター  
福岡県 山田 聖子  
Hijiri+ (ひじりプラス)  
<http://lit.link/hijiriplus>  
[tfa@gem.bbq.jp](mailto:tfa@gem.bbq.jp)



## 犬の石けん仕事人レシピ

犬の石けんマイスター  
大阪府 松本 葉子

Candy Witch(キャンディウィッチ)  
<https://candywitch.jimdofree.com>  
[yoko.candy612.pine@gmail.com](mailto:yoko.candy612.pine@gmail.com)



### 材料

- ・オリーブオイル150g (ネットinf)
- ・パーム油 60g
- ・パーム核油 60g
- ・ひまし油 21g
- ・ホホバ油 9g
- ・苛性ソーダ 40g
- ・精製水 88g

ネットには皮膚や被毛に良いと言われて  
いるケイ素が含まれています。

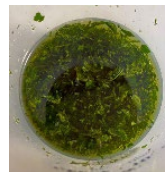


### 作り方

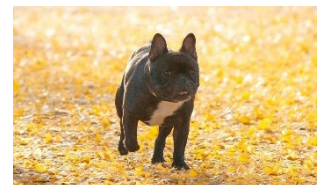
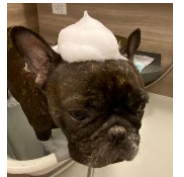
事前準備としてオリーブオイルに細かくしたドライのネットリーフ15gを入れ湯煎にかけオイルに成分を抽出しておく。

- ① 精製水に苛性ソーダを入れ苛性ソーダ水を作り40度ぐらいに冷ましおく。
- ② 分量のオイルを計り40度ぐらいに温めておく。
- ③ ②のオイルに①の苛性ソーダ水を注ぎ入れ、泡立て器で攪拌する。
- ④ 生地がゆるめのカスタードクリーム状になってきたら型に流し入れる。
- ⑤ 24時間～48時間保温した後、型から出してカットし乾燥熟成させる。

4週間後から使用することができます。



1歳を過ぎた頃酷い膿皮症になり、膿のついた湿疹がで続続けて、抗生剤とステロイド剤を処方されていた愛犬のマロ。病院で勧められた薬用シャンプーで私の足(膝から下)と腕が真っ赤になってしまい、こんなに刺激があったら犬にはツラいだろうと手作りの犬の石けんに変えてからマロの肌も見ると改善していききました。季節によりフケの出る時もありますが、フワフワ艶々で過ごしています。



よい年になります(優佳)



二十歳の老猫の危篤見守り中にコロナ感染しました。私が治るか猫が逝くか?、なんともいえないせめぎ合いの中、普通の風邪と同じように私は快復。猫はというと五日間食べずにいたのに奇跡の復活!二人で元気になり、あと少し老猫と共に過ごせそうです。(由子)

初詣でひいたおみくじは微妙な末吉。数日後に発熱、コロナ陽性には仕事や予定はオールキャンセル、三日間熱で苦しむ七日間の隔離生活でした。スタートでいきなりつまづきました。が、今は運気が上っていきはすよい年になります(優佳)

## 編集後記



犬の石けん処方士タイムズ vol.7

2023年1月31日 発行 (通刊7号)

発行人: 犬の石けん処方士

編集人: HSA資格制度委員会ペット資格部会  
岩田うみ、森山由子、緒方優佳

編集: 岩田うみ、森山由子、緒方優佳

発行: 一般社団法人ハンドメイド石けん協会  
〒143-0023 東京都大田区山王2-12-6  
TEL.03-6303-8859  
member@sekken.info  
<https://www.sekken.info>

